
スイートプリキュア 間に蠹く次元の悪

S・H

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スイートプリキュア 間に蠢く次元の悪

【NZコード】

NZ887Y

【作者名】

S・H

【あらすじ】

キュアミューズが仲間になり、メフィストも正気に戻り、いつもと変わりなく生活している響達。しかし、そんな彼女達の前にラビリンスのウエスターとサウラーが現れ、その後マイナーランドでもない謎の敵が現れる。同時に、その謎の敵はハートキヤツチ組、フレッシュ組にも現れた。そして、彼女たちはこの後とてつもない戦いに巻き込まれることになる。

主な登場人物（前書き）

主な登場人物・オリジナルキャラです。

主な登場人物

北条 韵	スイートプリキュア (キュアメロディ)
南野 奏	(キュアリズム)
黒川エレン	(キュアビート)
調辺アコ	(キュアミューズ)
ハミィ	
フェアリートーン	
クレッションドトーン	
調辺音吉	
メフィスト	
	ハートキャッチプリキュア
花咲つぼみ	(キュアブロッサム)
来海えりか	(キュアマリン)
明堂院いつき	(キュアサンシャイン)
月影ゆり	(キュアムーンライト)
シフレ	
コフレ	
ポプリ	
花咲薰子	(キュアフラワー)
コッペ	
	フレッシュプリキュア
桃園ラブ	(キュアピーチ)
蒼乃美希	(キュアベリー)
山吹祈里	(キュアパイン)
東せつな	(キュアパッション)

タルト

シフオン

ウエスター（西 隼人）

サウラー（南 瞬）

オリジナルキャラ（敵）

ギーア イメージCV 柴田秀勝

本編の黒幕であり、次元の狭間にて空間のねじれによつて生まれた悪。大魔神のような姿で性格は冷酷非情。

全ての世界を破壊するべく3人の部下を自身の力で生み出し、破壊活動を行わせている。

リーグ CV 池田秀一

ギーアが生み出した部下の一人。貴公子風の青年の姿で常に冷静だが、絆や信じあう心を嫌悪している性格でそれを破壊することを生きがいとしている。空間の剣つるぎを武器として所持しており、それを利用了した空間による剣術を使う。また、瞬間移動も扱える。一人称は「私」か「我」

ハンク CV 星野充昭

ギーアが生み出した部下の一人。初老の姿をした怪力な体格で、主に攻撃は拳を使い、攻撃力もかなり高い。かなり好戦的で粗野な面もあるが、仲間想いなどころもある。一人称は「わし」

カルマ CV 下和田裕貴

ギーアが生み出した部下の一人。少年のように無邪気だが、かなり狂気じみた性格かつ激情家で特に顔に傷つけられると激昂する。そんな性格でもハンクと同じく仲間想いな性格。一人称「僕」、激昂した時は「俺」

主な登場人物（後書き）

初めまして。私は小説を書くのは始めてで素人です。
以後、よろしくお願いします。

また、この話はスイートがメインですがハートキャッチとフレッシュ
ユをコラボさせた話です。スイートが終了する前までには完結させ
る予定です。

プロローグ

次元の狭間にて恐ろしい悪が生まれてしまった。

その名は・・・ギーア！

ギーア 「我が名はギーア。

我が部下達よ、多数存在する世界を荒らし破壊するのだ。」

3人 「はっ！！！」

ギーア 「さあ、行け（ゆけ）！！！」

3人の部下に命令を下す。

彼らが行き着いた世界はプリキュアが住んでいる世界だった。

リーグ 「お前達、どうしてついてきた？」

カルマ 「ひひひ、どうでもいいじゃないか。」

ハンク 「そうだ！ わしらはギーア様に生み出された仲間だらう。」

リーグ 「ふん、仲間だの絆だのくだらぬ。

私はそういう物は大嫌いなのだ。お前たちと私が仲間だとは認めぬ。

二度と私の前でその様な事を口にしないでくれ！！！」

ハンク 「何だと！」

仲間である事を否定されて怒るハンク。

リーグ 「では、私はこの世界を破壊して回る。」

貴様達はせいぜい、ちゃちな絆で遊んでいるのだな。」

ハンク 「待ちやがれ！！リーグ！」

カルマとハンクに罵言を言い去つていくリーグを止めようとする

ハンク。

カルマ「じゃあ～、僕も単独で行つて来るね～」

カルマも一人で行こうとする。

ハンク「カルマ！お前もかよ？」

カルマ「だつてさ～、こんな世界僕一人でも捻り潰せちゃいそудから～、

じゃあね！」

自信満々そうな態度でカルマも後にした。

ハンク「どいつもこいつもふざけやがって！

まあいい。わしも一人で行く。」

3人の部下はバラバラになつて行くのでした。

この後、3組のプリキュアと戦う事になるとも知らずに。

スイート VS リーグ その1

「ここは加音町、響達は調べの館で調辺アコヒキュアコーズが新しく仲間となつた事を祝つて歓迎会をしていた。

響「さあ、始めましょう。」

アコ「ちよつと、別にいいわよー。」

こんな事しなくて。」

赤面しながら遠慮したがつて居るアコ

奏「いいのよ、遠慮しないの」

エレン「そうです、姫様！」

私たちはあなたが仲間になつた歓迎のためですか？」

アコ「だから姫様はもうやめて、エレン。」

普通に名前で呼んでいいから

エレン「悪かったわ、アコ。」

ハミィ「とにかく始めよう！ヤ」

ドドリー「そうだドド。アコは恥ずかしがつてゐるけど本當は始めてほしいんだドドー！」

アコ「ドドリー！」

何私の心を読み取つてんのよ……」

ドドリーに本心を読み取られて恥ずかしがつて居るアコ。

全員「ははははは」

全員に笑われる

響「じゃあ、早く始めようよ。奏のカッパケーキも食べたいし。」

奏「そうね、アコが仲間になつた歓迎を祝して～」

全員「かんぱ・・・」

全員が乾杯をしようとしたところに突然光が現れ一人の男が現れる。

瞬「ここはどこだ？」

別の場所に来たんじゃないかな隼人？」

隼人「多分な。」

転送ミスだろ？」

アコ「ちょっと何よあんた達？」

勝手に入つてきて、人の歓迎会を邪魔しないでよ！」

急に現れた二人に怒る。

瞬「すまない。」

だけど教えてくれないか？君たちは？「ここはどこなんだ？」

奏「まずはそっちから名乗るのが常識でしょ？」

瞬「そうだね。僕は瞬」

隼人「俺は隼人だ」

響たちに自己紹介をする瞬と隼人

響「私は響」

奏「奏です」

エレン「エレンです」

アコ「アコよ」

ハミィ「そしてハミィはハミ

ニヤツ！？」

みんなが自己紹介をしたためハミィも自己紹介しようとしたがエレンに口をおさえられる。

隼人「その猫、今喋らなかつたか？」

エレン「いや、気のせいですよ。はは」

響「そんなことより、何の用でここに来たんですか？」

二人にここへ来た理由を聞こつとする。

瞬「ああ、それが・・・」

効果音「ドッカーン」

奏「何、今の音は？」

エレン「もしかして」

響「ネガトーン！」

アコ「行くわよ、みんな！！」

全員調べの館から外へ出て行く。

隼人「どうしたんだ、あいつら？」

瞬「彼女達、もしかしたら…」

隼人「ん？」

響達は外に出てみると、人の姿をした闇の怪物4体が町で暴れていた。人々は逃げ回っていた。

響「あれってネガトーンなの？」

エレン「いいえ、あれはネガトーンはじゃない。

ネガトーンは悪に染まつた音符によって作り出される怪物で人々を悲しみにさせるはず。それに、トリオ・ザ・マイナーの姿も見えないし。」

奏「じゃあ、あの怪物はなんなの？」

?「教えてやる！」

全員「誰!?」

現れたのは剣を持つた貴公子のような青年だった。

リーグ「我が名はリーグ。我的生みの親であるギーア様により生み出された忠実なる部下だ。」

響「ギーア？」

もしかして、あの怪物を生み出したのもあんたなのね？」

リーグ「そうだ、あれは我が作り出した手駒なのだよ。」

奏「どうして町を人々を襲つたりするの？」

リーグ「どうして？」

簡単なこと、それは我が生みの親ギーア様の命令だ。

ギーア様はこの世界を含めすべての世界を破壊しようと画策しておられるのだよ。」

自身たちのしていることの目的を洗いざらい話してしまう。

エレン「何ですって！？」

アコ「世界を全て破壊？」

リーグ「安心しろ、お前達はここで消してやる。

やれ！！」

闇の怪物が響達に襲い掛かるとする。

響「許せない！」

リーグ「何！？」

響の言葉に反応するリーグ

エレン「そんな理由で」

奏「人々を苦しめたり」

アコ「世界を滅ぼそくだなんて」

4人「絶対に許さない！！」

4人「レッツプレイ！プリキュア・モジュレーション！」

キュアメロディ「爪弾くは荒ぶる調べ！キュアメロディ！」

キュアリズム「爪弾くはたおやかな調べ！キュアリズム！」

キュアビート「爪弾くは魂の調べ！キュアビート！」

キュアミューズ「爪弾くは女神の調べ！キュアミューズ！」

全員「届け、4人の組曲！　スイートプリキュア！」

4人がプリキュアに変身するところをみていた瞬と隼人
瞬「まさか、彼女たちがプリキュアだったのか」
隼人「知つてはいたんだがまさかあいつら以外にもプリキュアがいるとは」

リーグ「プリキュア？お前たちがか？」

プリキュアに対し頭を傾げながらメロディ達に問う

メロディ「そうよ、私たちは伝説の戦士プリキュア！」

リズム「もう、あなた的好きにはさせない！」

リーグ「ふん、小賢しい。

行け！！」

4体の闇の怪物をプリキュア達に解き放つ。

メロディ「行くよ！」

リズム・ビート・ミューズ「ええ！」

プリキュアたちはそれぞれ闇の怪物と激突する

4人「はあああ！！」

リーグ「ふつ、なかなかパワーはあるようだな。
だが、私の作り出した手駒は結構強いぞ。
貴様達に勝てるのかな？」

ビート「確かにこいつ強い」

リズム「でも負けるわけにはいかない」

ミューズ「この世界を守るまでは

絶対に！」

メロディ「そうだよ、私たちはプリキュア。

ここで決めなきゃ女がすたる！」

全員猛攻で闇の怪物たちを圧倒する。

リーグ「何！？」

メロディ「はつ！」

リズム「はあ！」

ビート「とう！」

ミューズ「てりや！」

それぞれの重い一撃で闇の怪物を一箇所に追いやる。

リーグ「くそつ！」

もうよい、手駒どもーこの上は私がやる。」

メロディ「どうやらあいつの出番ね。」

そんな時、リーグは闇の怪物たちを自身の体に引き寄せ体内に取り込んだのだ。

リーグ「ぬおおおおおおーーーー！」

闇のオーラが飛び散りながらリーグの体は少し巨大化した

リーグ「行くぞ！」

4人「うんーー！」

次回に続く！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9887y/>

スイートプリキュア 間に蠹く次元の悪

2011年12月2日02時45分発行